

資料 3 上庄川水系流域治水プロジェクト 更新（案）

令和元年東日本台風では、全国各地で甚大な被害が発生したことを踏まえ、上庄川水系においても、事前防災対策を進める必要があり、以下の取組みを実施していくことで、甚大な被害を生じさせた平成17年7月洪水と同規模の洪水による家屋浸水被害の解消を図る。



- 上庄川では、県、市、土地改良区が一体となって以下の手順の「流域治水」を推進する。
 - 【短期】桑ノ院池における事前放流等の基本協定の締結、体制構築・実施を行うことにより、洪水被害を軽減する。
 - 【中期】上庄川下流部の市街地での重大災害の発生を未然に防ぐため河積確保を目的とした河道掘削等を実施。
 - 【中長期】上庄川中上流部の浸水被害を防ぐため、堤防整備や河道掘削等を実施し、流域全体の安全度向上を図る。
- あわせて越水、溢水の頻発箇所へは、必要に応じて、水位計や監視カメラを設置し、WEB上への配信追加・周知などを行うことにより、避難判断に役立てる。

区分	対策内容	実施主体	工程		
			短期	中期	中長期
氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	上庄川の河道掘削、堤防整備、橋梁架替 等	富山県	下流部(河道掘削 等) 中上流部(堤防整備 等)		
	桑院ため池における事前放流等の体制構築、実施等	富山県 土地改良区	整備期間が長くなるため、被害を減らす方法として堤防整備のみだけでなく、その他の洪水調整施設などの検討		
	砂防関係施設の整備	富山県	R3に事前放流について基本協定を締結し体制の構築を図る		
	森林整備・治山対策	富山水源林整備事務所 富山県			
被害対象を減少させるための対策	立地適正化計画に基づく「安全なまちづくり」に向けた取組（防災指針策定など）	氷見市	立地適正化計画への防災指針の記載と取組など		
被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	洪水浸水想定区域図の作成、地区防災計画の策定、避難訓練への住民参加促進及び住民参加等	富山県 氷見市 住民	必要に応じて、越水、溢水の頻発箇所への設置やWEB上への配信追加・周知など		
	水位計・監視カメラの活用	富山県			

【事業費(R6年度以降の残事業費)】

- 河川対策
 - 全体事業費 34.4億円※
 - 河道掘削、堤防整備 等
- 砂防対策
 - 砂防堰堤、集水井 等

※県の河川整備計画の残事業費を記載

気候変動を
踏まえた
さらなる対策を
推進

(様式: 取組事例)

区 分	氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	実施機関	富山県
メニュー名	河川改修(河道掘削、堤防整備、橋梁架替)		
事業・施策の名称	河川改修(河道掘削、堤防整備、橋梁架替)		
実施場所	上庄川		

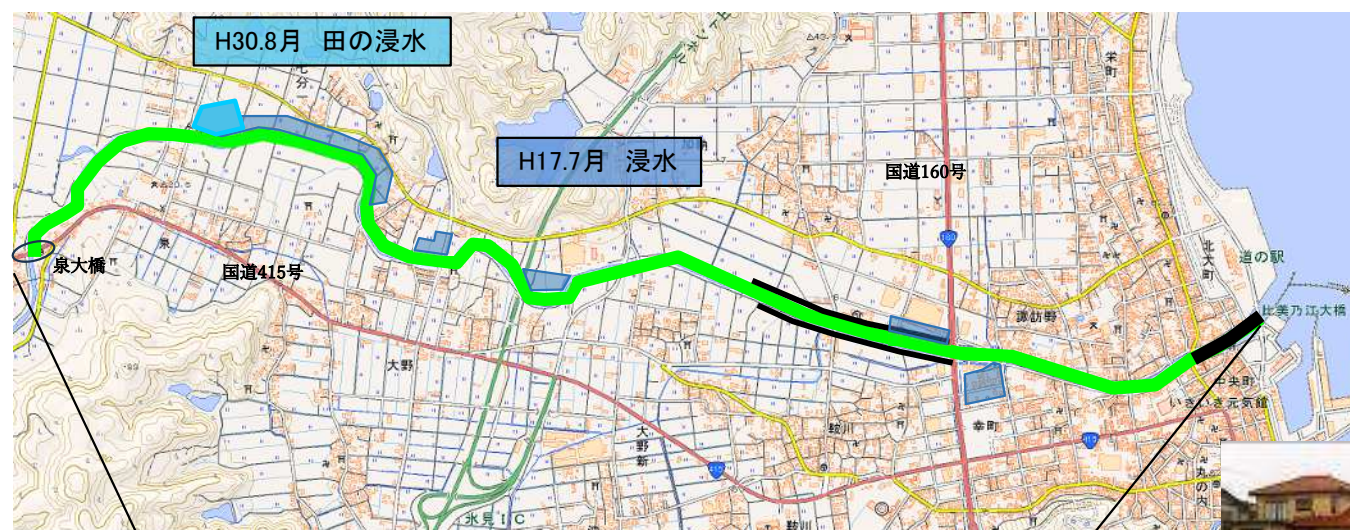
【対策概要】

上庄川は、氷見市の上庄谷平地を流れる河川である。本川は流路が屈曲し、河積も狭小であるため、過去には降雨により幾度も氾濫している。平成27年度に事業着手し、河床掘削、築堤等の整備を実施し、浸水被害の解消を図っている。

【事業内容】

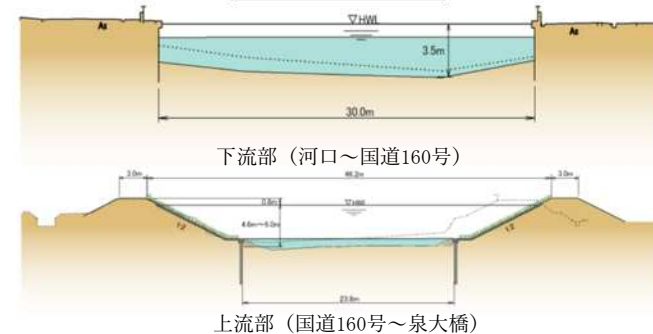
事業期間：平成27年度～

内 容：計画延長5,600m（河道掘削、堤防整備、橋梁架替）



上庄川 計画延長L=5,600m

上庄川の整備



H17.7 出水時



(様式: 取組事例)

区 分	氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	実施機関	富山県
メニュー名	砂防関係施設の整備		
事業・施策の名称	砂防関係事業		
実施場所	上庄川流域		

【対策概要】

土砂災害から暮らしを守る砂防関係施設を整備します。

土石流災害を防ぐ

砂防事業



・砂防堰堤 等

大地が動くのを防ぐ

地すべり対策事業



・集水井工
・横ボーリング工 等



(様式:取組事例)

区 分	氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	実施機関	富山県、土地改良区
メニュー名	桑院ため池における事前放流(体制構築、実施)		
事業・施策の名称	桑院ため池における事前放流(体制構築、実施)		
実施場所	氷見市 桑院ため池		

【対策概要】

桑院ため池における事前放流等の体制構築、実施等

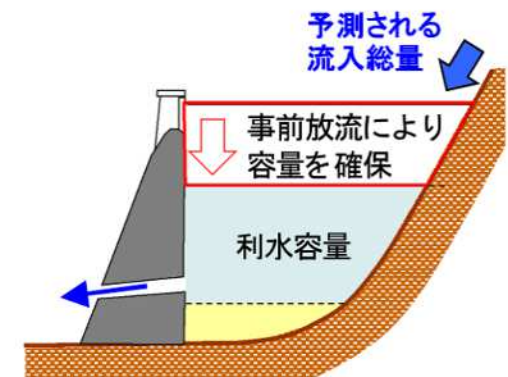
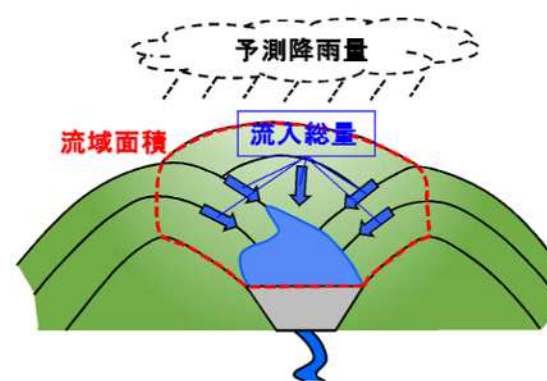
桑院ため池



恒常的な水不足を解消するために、県営事業により築造され、昭和29年に完成しました。
その後、五位ダムからの補給水も貯水し、約1,500haの農地にかんがいしている氷見市最大のため池です。

- ・高さ:23.03m
- ・長さ:85.55m
- ・総貯水量:79万m³
- ・池の面積:17.5ha

洪水が予想される場合、既存ダムの利水容量の一部を洪水調節に活用し、下流側への影響を軽減する

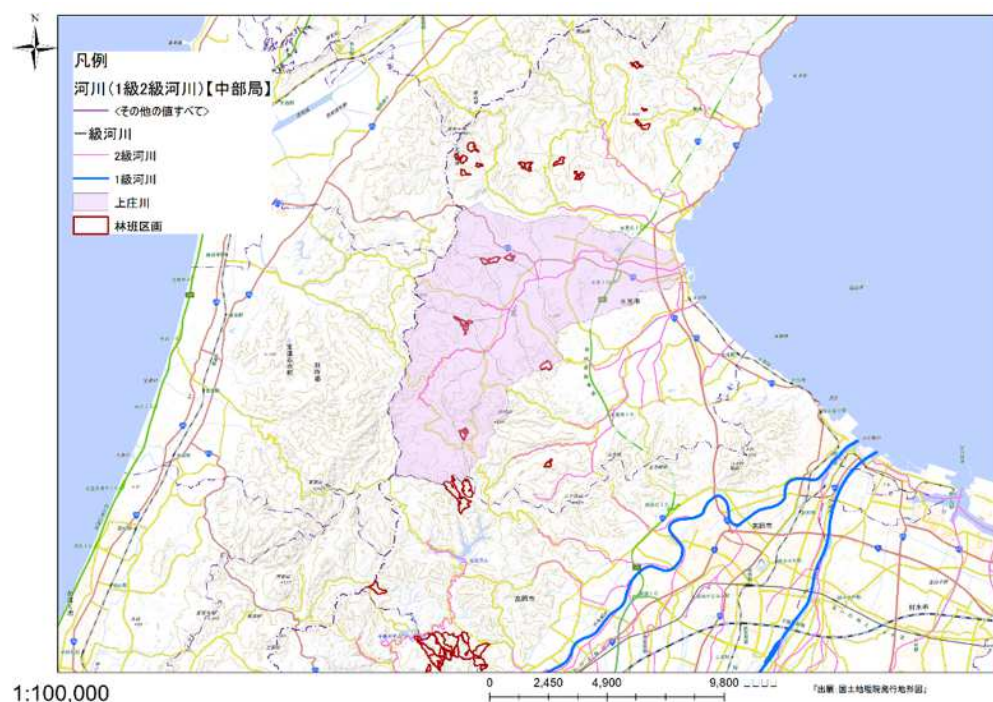


(様式:取組事例)

区 分	氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	実施機関	富山水源林整備事務所
メニュー名	森林整備		
事業・施策の名称	森林整備(除間伐等)民有林保安林内		
実施場所	上庄川(下記位置図)		

【対策概要】

- ・ 除間伐等の森林整備を実施することで、樹木の成長や下層植生の繁茂を促し、森林土壌等の保水力の強化や土砂流出量の抑制を図り、流域治水を強化促進します。
- ・ 水源林造成事業地は、上庄川流域に5箇所（森林面積 約30ha）があり、流域治水に資する除間伐等の森林整備を計画的に実施します。



水源林の整備



針広混交林



育成複層林

森林整備実施イメージ



間伐実施前



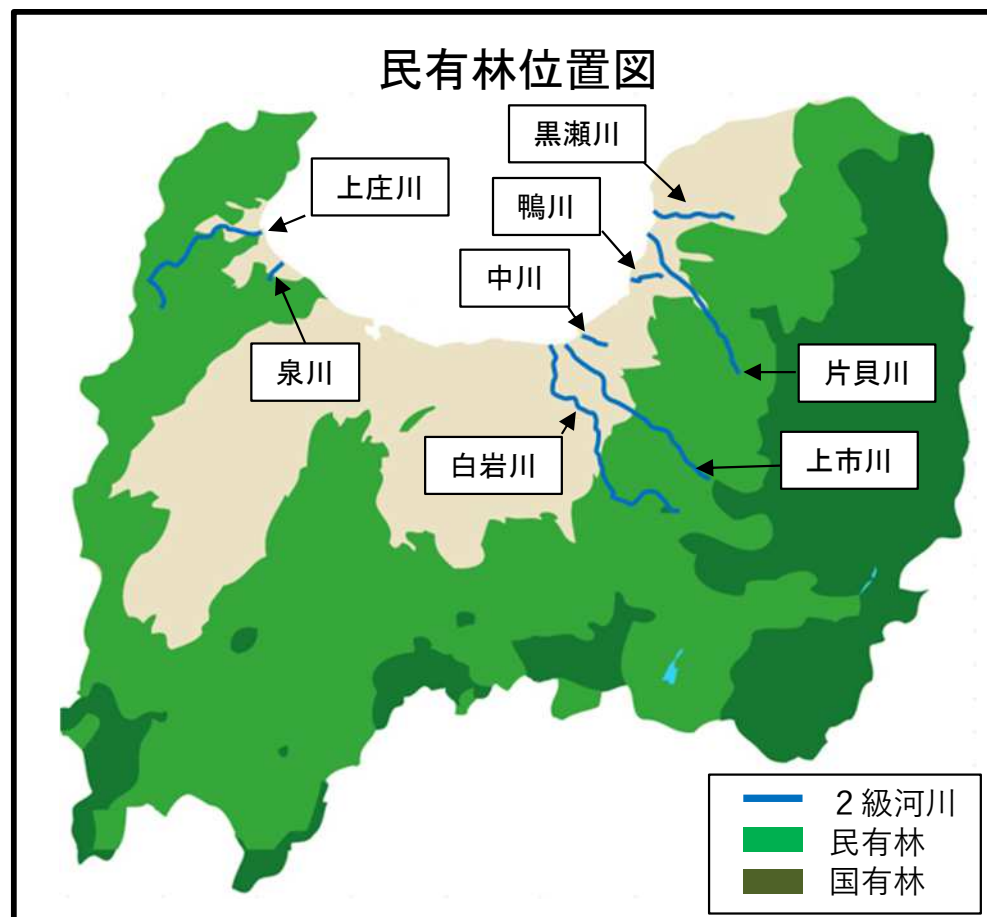
間伐実施後

(様式：取組事例)

区 分	氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	実施機関	富山県
メニュー名	森林整備・治山対策		
事業・施策の名称	森林整備・治山対策(間伐 治山工)民有林内		
実施場所	上庄川流域		

【対策概要】

山地災害から住民の生命や財産を守るため、気象等が起因の山地災害により機能が低下した森林や溪流を対象に森林整備（間伐等）や治山施設の設置を併せて実施することにより、森林等の機能回復を図る。



森林の整備

間伐

(事例) 魚津市東城地内

治山施設の設置

流木捕捉式治山ダム

(事例) 南砺市大鋸屋地内



(様式:取組事例)

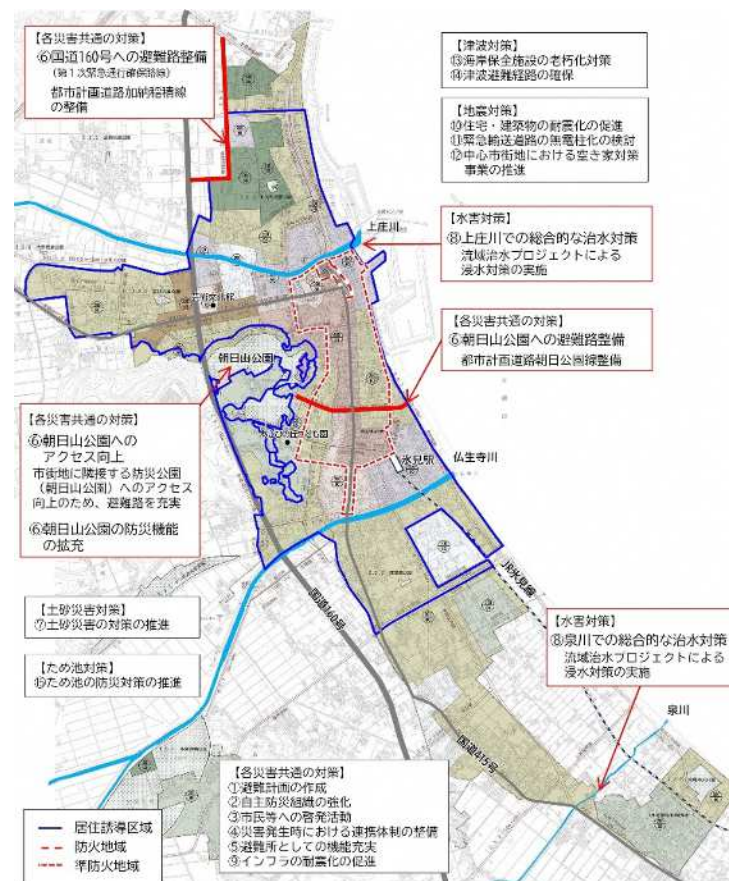
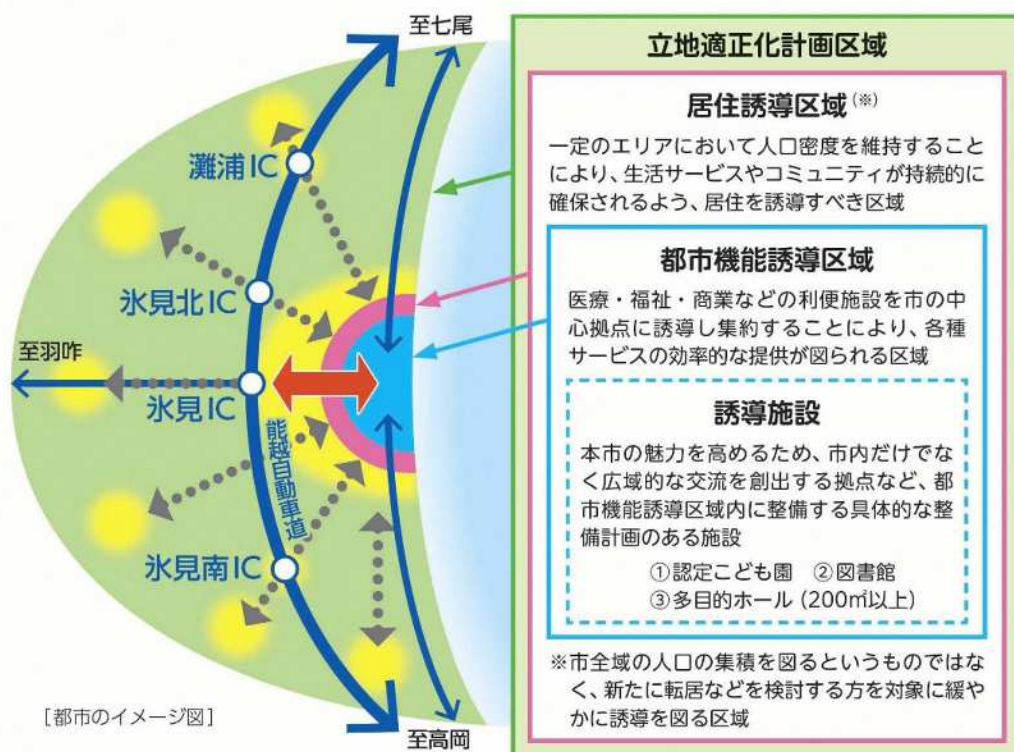
区 分	被害対象を減少させるための対策	実施機関	氷見市
メニュー名	立地適正化計画に基づく「安全なまちづくり」に向けた取組(防災指針策定など)		
事業・施策の名称	立地適正化計画に基づく「安全なまちづくり」に向けた取組(防災指針策定など)		
実施場所	上庄川流域		

【対策概要】

「安全なまちづくり」に向け、立地適正化計画への防災指針の記載と取組みを行う

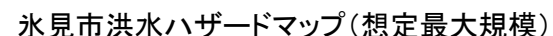
取組み実績：「氷見市立地適正化計画」に防災指針を位置づけ、令和7年3月に公表

防災指針において、居住誘導区域における防災・減災の取組み方針を位置づけ



区 分	被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	実施機関	富山県、氷見市
メニュー名	災害リスクの現地表示、洪水ハザードマップの周知、浸水実績の周知		
事業・施策の名称	災害リスクの現地表示、洪水ハザードマップの周知、浸水実績の周知		
実施場所	上庄川流域		

それに基づき、増水し、堤防からあふれたり、堤防が壊れたりした場合の浸水情報や、避難に関する情報をわかりやすく提供するために、「洪水ハザードマップ」を作成しています。

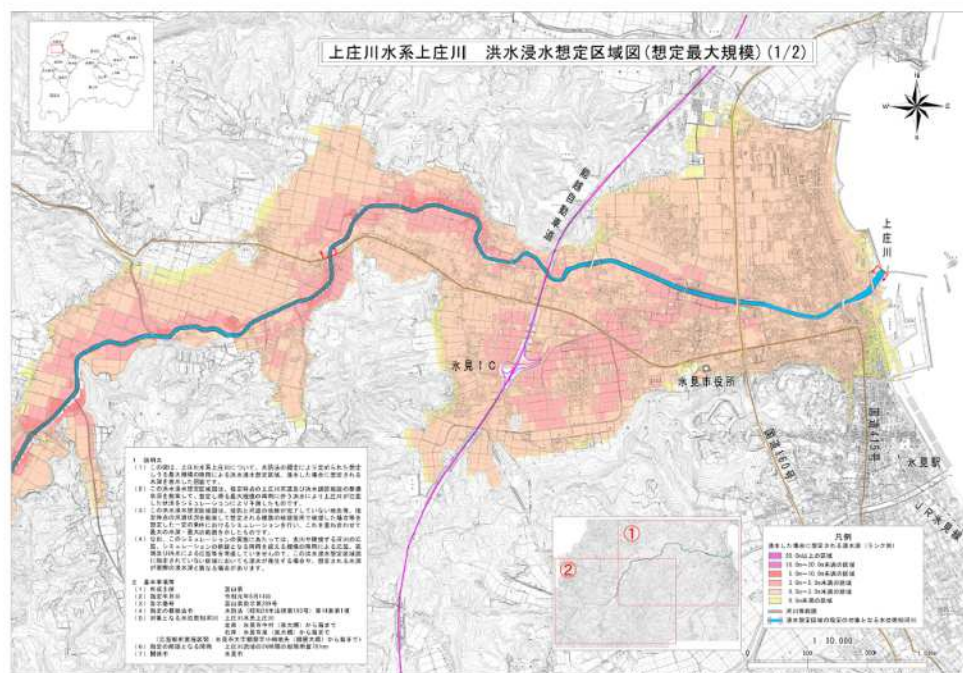


(様式: 取組事例)

区 分	被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	実施機関	富山県、氷見市
メニュー名	避難のためのハザード情報の整備		
事業・施策の名称	洪水浸水想定区域図の作成		
実施場所	上庄川支流の県管理河川		

令和3年改正水防法に基づき、人家等防護対象が存する全ての河川について、浸水想定区域図の作成が義務付けられました。上庄川支流の県管理河川についても、令和7年度の出水期前までに洪水浸水想定区域図を作成することを目標に取り組んでいます。

【取組実績】令和4年3月～ 対象河川の選定・解析手法の検討を実施
令和6年度 洪水浸水想定区域図作成委託業務実施



参考例: 上庄川(本川)(水位周知河川)洪水浸水想定図(想定最大規模)



上庄川支流の河川(例: 桑院川)

(様式: 取組事例)

区 分	被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	実施機関	富山県
メニュー名	水位計・監視カメラの活用		
事業・施策の名称	河川状況等ライブカメラ情報		
実施場所	県管理の水位周知河川の水位観測所等		

洪水時における住民の自主避難や市町村長の避難指示等の判断を支援するため、河川監視カメラの画像や県管理の水位周知河川等の水位状況をインターネットを通じて一般公開している。

【実施概要】

- ・ 公開開始日: 平成30年6月～【R4. 3月リニューアル、R5. 3月改修(危機管理型水位計のリアルタイムデータが閲覧可)、R6. 6月改修(ダム貯水位の確認可※外部リンク、10分更新)】
- ・ 公開の内容: 河川海岸カメラ画像情報(静止画: 5分更新)、県管理河川の水位情報等
- ・ 公開HP : 「富山県河川海岸カメラ・水位情報」 <https://kawa.pref.toyama.jp/camera>



河川監視カメラ設置状況



(様式: 取組事例)

区 分	被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	実施機関	富山県
メニュー名	水位計・監視カメラの活用		
事業・施策の名称	「とやま河川(かわ)メール」配信サービス		
実施場所	県管理の水位周知河川の水位、ダム貯水位情報		

とやま河川(かわ)メールは、富山県が管理する河川の水位やダムの貯水位が基準値を超えた場合に、登録された方へスマートフォンやパソコン、携帯電話にメールを配信するサービスです。洪水時における避難行動や水防団の水防活動などにご活用いただけます。

【実施概要】・配信開始日: 令和6年6月21日

・配信の内容: 受け取りたい河川(46観測所)の水位(4段階)や、ダム(16箇所)の貯水位(3段階)の各基準値(選択可)を超えた場合にメールを配信

とやま河川メール

富山県が管理する河川の水位やダムの貯水位の情報をメールでお知らせします

受け取りたい河川の水位やダムの貯水位が登録した基準値を超えた場合に、スマートフォンやパソコン、携帯電話にメールが配信されます。

河川が増水し
水位の基準値を
超えると

自動的にメールを配信

登録ユーザー

ダムの貯水位が
上昇し、基準値を
超えると

事前に受け取りたい観測所やダムの情報を登録
(〇〇観測所の〇〇水位)

自動的にメールを配信

配信内容

水位観測所やダム、基準値を選ぶことができます。

配信項目	基準値
河川水位 (46箇所)	・ 氾濫危険水位 (レベル4)
	・ 避難判断水位 (レベル3)
	・ 氾濫注意水位 (レベル2)
	・ 水防団待機水位 (レベル1)
ダム貯水位 (16ダム)	洪水調節容量における貯留割合が ・ 100%の貯水位 ・ 80%の貯水位 ・ 50%の貯水位

【参考】各基準値の内容

河川水位

ダム貯水位

【避難判断水位到達】和田川
本江
富山県: toyama-pref@go.jp
宛先
以下の観測所で避難判断水位に達しました。
水系名: 庄川
河川名: 和田川
観測所名: 本江
レベル: Lv3 避難判断水位
観測値: 3.70 m
基準値: 氾濫危険水位 4.30 m
避難判断水位 3.70 m
氾濫注意水位 3.50 m
水防団待機水位 3.00 m

登録はこちら▶▶▶



以下URLからも登録可能です

<https://plus.sugumail.com/usr/toyama-pref/home>

区 分	被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	実施機関	富山県、氷見市
メニュー名	要配慮者利用施設避難確保計画の作成及び支援		
事業・施策の名称	要配慮者利用施設の避難計画の作成及び訓練の促進		
実施場所	(対象:市町村地域防災計画で指定された要配慮者利用施設)		

【取組実績】

- ・ 令和元年度：南砺市、入善町、黒部市にて講習会
- ・ 令和2年度：魚津市にて講習会
- ・ 令和3年度：富山市にて講習会
- ・ 令和4年度：富山市にて講習会
- ・ 県内の要配慮者利用施設1,660施設中1,519施設（91.5%）で計画を作成済み（R6.9.30時点）



講習会の様子 R4 富山市

[illegible]

簡易な計画ひな型 (国交省)

(様式:取組事例)

区 分	被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	実施機関	氷見市、住民
メニュー名	地区防災計画の策定		
事業・施策の名称	地区防災計画の策定		
実施場所	各地区の被災時の活動体制、避難経路など		

地区防災計画の主な内容は、地区毎の平常時や災害時における住民の役割分担の確認や、防災訓練の実施内容について計画し、災害時には避難所設営・運営などの行動計画を盛り込むなど、自主防災組織が作成した住民のための地区防災マニュアル。

【令和6年度に策定した11地区】

朝日丘、北部、加納、稲積、宮田、上庄、速川、神代、久目、阿尾、藪田
6年度の11地区の計画策定により、
市内22の自主防災組織すべて計画策定済となった。

【令和5年度までの策定11地区】

(H30.2策定) 仏生寺、(R2.12策定) 十二町、(R4.3策定) 中央
(R6.2策定) 窪、宇波、八代、余川、碁石、女良、布勢、明和

講習会の様子 R6 氷見市



計画策定報告会 R6 氷見市



朝日丘地区防災計画

『家族を守り まちをまもる』

SDGs 住み続けられるまちづくりを

完全保存版

防災行政無線放送を聞く場合 電話0120-134-151(フリーダイヤル)
火災発生情報等を聞く場合 電話0766-22-9999(有料)



朝日丘小学校

令和7年2月策定
朝日丘地区自主防災会

住民のみならず

※この地区防災計画書は、災害時にすぐに出出せるようにわかりやすい場所に保管ください！